



国際ロータリー第2760地区

2011年-2012年度のための
地区協議会報告書



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 国際ロータリーのテーマ

地区のテーマ

会員増強とクラブの活性化

◆開催日◆

2011年4月16日(土)

◆会場◆

ウェスティンナゴヤキャッスル

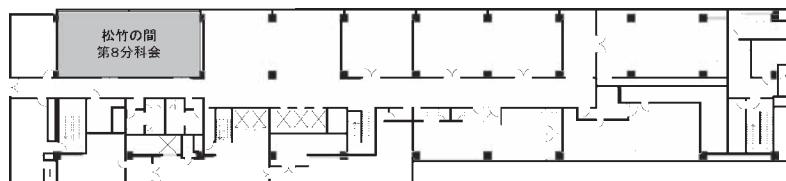
ホストクラブ:知多ロータリークラブ

Contents

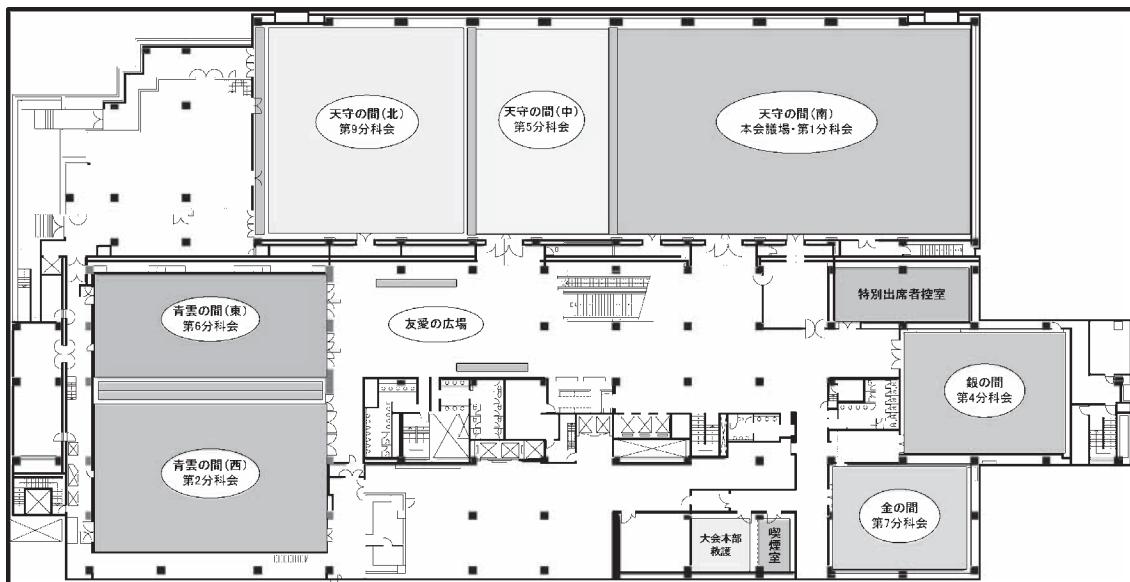
| | |
|----------------|----|
| 会場図 | 2 |
| 地区協議会プログラム | 3 |
| 開会の言葉 | 4 |
| 歓迎の挨拶 | 5 |
| ガバナー挨拶 | 6 |
| 次期地区研修リーダー挨拶 | 9 |
| ガバナーエレクト挨拶（代読） | 12 |
| 第1分科会 プログラム | 15 |
| 第2分科会 プログラム | 16 |
| 第3分科会 プログラム | 17 |
| 第4分科会 プログラム | 18 |
| 第5分科会 プログラム | 19 |
| 第6分科会 プログラム | 20 |
| 第7分科会 プログラム | 21 |
| 第8分科会 プログラム | 22 |
| 第9分科会 プログラム | 23 |
| ガバナー講評 | 24 |
| アルバム | 25 |
| ご案内 | 37 |
| 東日本大震災報告 | 39 |
| クラブバナー引継ぎ | 42 |

国際ロータリー第2760地区 2011～2012年度のための 地区協議会 会場図

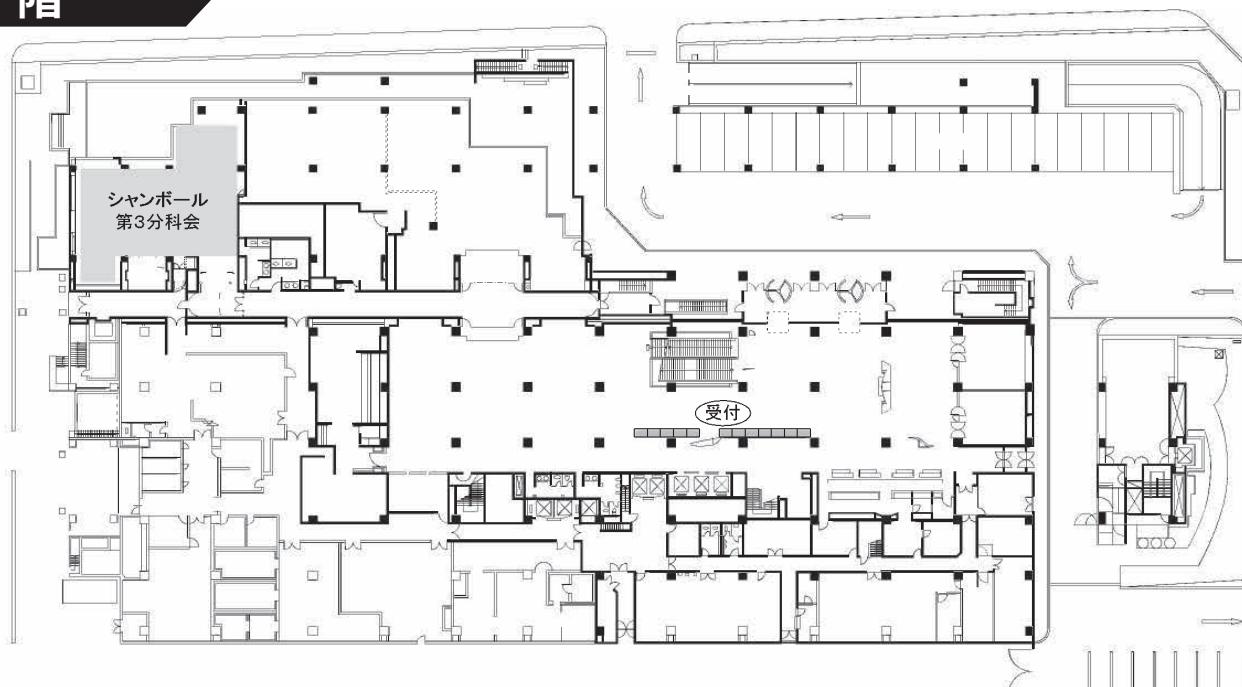
3階



2階



1階



地区協議会プログラム
国際ロータリー第2760地区
2011～2012年度のための
地区協議会スケジュール

開催日時 2011年(平成23年)4月16日(土) 10:30～15:00
開催場所 ウェスティンナゴヤキャッスル
ホストクラブ 知多ロータリークラブ

【受付】(9:30～10:20)

【午前の部】

本会議 (10:30～12:00)

点鐘
開会の言葉
国歌「君が代」斉唱
ロータリーソング「奉仕の理想」
歓迎の挨拶
特別出席者紹介
出席者紹介(分区・クラブ・会員数)
ガバナー挨拶
次期地区研修リーダー挨拶
ガバナーエレクト講話(代読)
2011～2012年度地区大会ご案内
次期地区協議会ホストクラブ発表
次期ホストクラブ挨拶
諸事のお知らせ

| | |
|----------|---------|
| 司会 | 坂 本 竹 敏 |
| ガバナー | 田 嶋 好 博 |
| 実行委員長 | 山 口 穎 二 |
| ソングリーダー | 財 津 泰 宜 |
| ソングリーダー | 財 津 泰 宜 |
| ホストクラブ会長 | 久 野 完 治 |
| 次期地区幹事 | 長谷川 正 己 |
| ホストクラブ幹事 | 林 秀 人 |
| ガバナー | 田 嶋 好 博 |
| パストガバナー | 片 山 主 水 |
| ガバナー | 田 嶋 好 博 |
| 大会実行委員長 | 高 村 博 三 |
| ガバナー | 田 嶋 好 博 |
| 次期ホストクラブ | 名古屋千種RC |
| 司会 | 坂 本 竹 敏 |

移動・食事 (12:00～12:50)

(各分科会 会場)

【午後の部】

分科会 (12:50～14:30)

第1～9分科会

移動・休憩 (14:30～14:45)

本会議 (14:45～15:00)

ガバナー講評
点鐘

| | |
|------|---------|
| ガバナー | 田 嶋 好 博 |
| ガバナー | 田 嶋 好 博 |

2011～2012年度のための会員増強セミナー (15:00～16:30)



開会の言葉



地区協議会実行委員長
知多ロータリークラブ
山 口 祯 二

皆さん、おはようございます。只今より、国際ロータリー第2760地区2011～2012年度地区協議会を開催させて頂きます。本日の地区協議会には1,536名の登録を頂きました。心より厚く御礼を申し上げます。本日の地区協議会は次年度のための方針になるとも言える重要な会議でございます。十分に協議を頂きまして皆様方の新しい年度のロータリーの奉仕活動に向けて意義のあるものになることをご祈念申し上げまして開会の挨拶とさせて頂きます。ありがとうございました。



歓迎の挨拶



ホストクラブ
知多ロータリークラブ
会長

久野 完治

皆さん、おはようございます。本日ホストクラブを務めさせて頂きます、知多ロータリークラブ会長の久野でございます。宜しくお願ひ致します。本日は早朝よりお越し頂きまして、誠にありがとうございました。思えば昨年4月18日にホテル日航豊橋で次期のホストクラブのご挨拶をさせて頂きました。早いもので、もうあれから1年が経ってしまいました。山口禎二委員長の下で地区協議会実行委員会を立ち上げ、知多クラブ全員一致団結して本日の準備にあたってまいりました。知多ロータリークラブ一同心を込めて設営させて頂きました。皆様に少しでもご満足頂けるように頑張ってきたつもりであります。分科会においては、手狭な会場もありまして、不行き届きな点もございます。いつものお約束でございますロータリーの友情に免じまして、その際にはご容赦を頂きたいと思います。また、スムーズな運営をさせて頂きますよう皆様方のご協力をお願い致します。最後にこの地区協議会が実り多い会議となることを祈念いたしまして、私の歓迎の挨拶とさせて頂きます。



ガバナー挨拶



国際ロータリー第2760地区
ガバナー
田嶋好博

皆さん、おはようございます。残念ながら今日の主役がおりませんので、私が代読ということになりますが、まずガバナーとしてのご挨拶を申し上げます。後ほど松前ガバナーエレクトに代わりまして代読をさせて頂きますが、ガバナーの直の声はこれから地区の委員会や公式訪問でお聞き頂けますから、今日は代読でご勘弁を頂きたいと思います。おそらく一番残念がっているのは松前エレクトだと思いますが、実はその次に残念がっておりますのは私でございまして、今日のスケジュール表を見て頂きますとガバナー引継ぎというのがございます。普通ですともう今日で終わりなのですが、残念な気がしております。それはさておきまして、今回の東日本大震災で被災されました皆様方、それからお亡くなりになつた皆様方に哀悼の意と心からお見

舞い申し上げます。先週の月曜日に東京でガバナー会が開かれまして、その時に被災された地区のガバナーの皆さんも出席されておりましたが、2520地区（岩手・宮城）は83クラブ中24クラブが音信不通、それから2530地区（福島県）は67クラブ中37クラブと連絡が取れないということでありまして、この2つの地区はロータリーはほとんど壊滅状態ということでございました。大変な状態でありまして、会員も相当数の行方不明の方がおられると伺っております。ただお二人のガバナーは誠に気丈でございまして、弱音を吐いておられなかつたのは東北地方の方の我慢強さというか、つくづく感心したわけであります。そこで、当地区の支援活動について少しご報告をさせて頂きたいと思います。まず先月お願い致しましたガバナー会を通じての義援金の



支援でございますが、約2,400万弱集まりまして、3月末日にガバナー会へ送金させて頂きました。全国からガバナー会に集められた義援金は約5億円ございます。そのうち1億円について被災された5つの地区への配分が終わっております。残りは、今回被災された両親を亡くされたり、片親を亡くされた子供さんたちの教育環境を整える資金として活用できないかと、基金を作るという方向で現在ガバナー会において検討しております。これは何故かといいますと、青少年奉仕というのはロータリーに向いた活動であると同時に、過去の神戸淡路大震災、中越大震災の際にも同じような基金が立ち上がり、被災された青少年の育成あるいは学資ということで随分成果を上げております。その次に当地区と致しましてはヘリコプターの支援を致しました。ご承知のようになかなか物資が届かないということがありますて、ヘリコプター活動の支援をしたわけですが、民間の市民キャビネットの災害支援部会というのが神戸の大震災をきっかけにして立ち上がり、ヘリコプターの飛行許可を唯一持っている団体でございます。そちらが4月末まで輸送支援を予定しています。総予算1,500万円ということで、ヘリコプター輸送をしている方々の持ち出しでされておられるそうで、1,000万円の支援をすることと致しました。去る3月27日に開

催された地区諮問委員会のご許可を得まして、すでに1,000万は支給しております。従いまして、4月末までのヘリコプターの支援活動は続けられる見通しであります。先日、地区幹事が現地へ入りまして、その支援活動を見てまいりましたが、現在は道路等かなり開通しておりますので、その部会が持っているトラック等で物資の輸送は行っており、ヘリコプターは離島や医者や看護士の輸送に活用されているということであります。この1,000万円の資金のうち約980万円は、実は昨年開催されました、あまロータリークラブホストによる地区大会で質素な運営を行って頂いたおかげで捻出された余剰金でございまして、地区へ繰り戻して頂き、そのお金と一部地区資金を補充致しまして1,000万円を支出したわけであります。改めましてあまロータリークラブの皆様方へお礼を申し上げたいと思います。このヘリコプター支援につきましては、名古屋瑞穂ロータリークラブの高須会員と江南ロータリークラブの枚本会員にはいろいろとお骨折り頂きましたことを皆様方にご紹介申し上げるとともに御礼を申し上げたいと思います。もうひとつ地区としてガバナー会を通じず、この地区から直接被災された3地区（2520、2530、2830地区）に対して義援金を送りたいということで、現在4月末日をめどにした義援金のお願いをしておりますが、



地区としてはこれを最後にしたいと思っております。この義援金につきましては先程紹介いたしました震災孤児の教育環境を保全する基金に一部繰り入れさせて頂きたいと思っております。

今回の災害で地区大会を中止された地区もかなりあります。また縮小して実行された地区もあり、PETS、地区協議会もできないという地区もあり、災害の程度によって各地区まちまちであります。幸い当地区のように被災を免れた地区としては義援金、物資の支援はもちろんでありますが、私たちの仕事が本当に社会の役に立っているということが実感できるのではないかという気が致します。私は「毎日が職業奉仕」ということを申し上げておりましたが、是非我々の仕事を通じて日本の活性化に尽力するよい機会ではないかと思います。私たちが事業を通じて日本を元気にするということをどんどんやっていきたいと思います。それからこの地区でも催し物を中止されたり、あるいは縮小されたりしているクラブがあると聞いておりますが、先週の土日に2700地区（福岡）は地区大会を開催され、予定通りに行われました。太鼓も鳴り、歌も歌われ、当初の予定通りに開催されました。福岡は非常に元気な地区でございまして、これから

日本は九州が支えるというような大変心意気のある地区大会でした。私は基本的に節度さえ守って頂ければ催し物はやって頂いても結構ですし、それぞれ計画された事業はおやりになればよいと思います。というのはロータリーというものは本来社会に貢献する団体であります。ですからそれをやるということは決して非難もされないし、やる時は堂々とおやりいただければ結構だと思います。人を思いやる気持ちがあれば社会から非難されることはないと確信しておりますから、来年度どうか自粛することなく、しっかり計画された事業をやって頂ければ結構だと思います。

次期地区研修リーダー挨拶



パストガバナー
名古屋東南ロータリークラブ
片山主水

皆様、こんにちは。ご紹介頂きました研修リーダーという名前であります
が、片山でございます。一言ご挨拶申
し上げます。今般の問題になっており
ます東日本大震災で亡くなられた
方々、あるいは被害を受けられた方々
には哀悼の意を表し、お見舞いを申し
上げます。自然是このような猛威をふ
るうかと思いますと、今日の天気のよ
うに本当に優しい温和な恵み、そういう
微笑みを我々に与えてくれるわけで
して、朝の予報では芝生日和であります。
一年で一番季節のよい、気韻生動
を感じられる時であります。こんな一
年で一番よい時期に無駄な地区協議会
を開催させて頂くことをお詫び申し上
げなければなりませんが、この地区と
しては何十年も行ってきた行事であります
からご容赦頂き、お付き合いの程
をお願い申し上げます。また、本日は

多くのパストガバナーの皆様にもご出
席頂いておりますことに感謝申し上げ
ます。そして本日のホストクラブの知
多ロータリークラブさんにおいては、
クラブ一丸となって準備をして頂きました。
今日一日この中で研修をさせて
頂きますことに感謝申し上げます。
さてこの地区協議会は言うまでもありま
せんが、すでに松前船団は燃料も積
み、そして海図も準備しまして、そし
て操舵法も十分に練習し、万端相調つ
ておりますが、今日一日この研修を終
えて、各クラブからこの船団に乗り込
んで頂くのを待っているわけです。
研修リーダーとして是非ともお願ひした
いことは、一つは、知らず知らずのう
ちに思考停止していないか。去年通り
でよいという状態になっていないかど
うか。そしてまた思考はしたけれども
マンネリに陥っていないかということ



です。こんなことを頭において頂いて、二つのことをして頂きたいのです。まず一つ目に各クラブの現状を認識して頂くことです。認識するには、時間軸を縦にさかのぼって頂き、去年どうであったか、一昨年どうであったか、そして5年前どうであったか、さらに可能であれば10年前どうであつただろうかということを理解して頂き、クラブの現状を認識して頂きたいということです。また目線を左右にずらして、横軸にみて頂き、他のクラブ、一番近しいところで親クラブあるいは子クラブ、そういうところのクラブをちょっと覗かせて頂くこと、そしてまた自分のクラブと同等程度のクラブの現状を参考までに資料をもらって見させて頂くことも大切です。そして名古屋のクラブであれば三河、尾張はどうであろう、三河、尾張のクラブであればそれぞれの地域のクラブの現状はどうであろうかということ、こんなようなことを特に会長幹事さんにはやって頂きたいと思います。そして自分のクラブの位置づけ、現状というものが把握できるのではないかと思います。そして二つ目にはロータリーの原理原則というものに少し思いを馳せて頂き、もう一度手続要覧なり地区便覧なり、いろいろな本を出して理解して頂きたいのです。ロータリーの心、

ロータリーの精神、ロータリーの綱領、あるいは23-34の決議とはどんなものか、あるいはまた中核となる価値観というものが新しく出来て、最近盛んに飛び交っておりますのでこういったことを理解して頂きたいと思います。各クラブの現状とロータリーの原理原則を理解することをまず準備としてお願いをしたいと思います。その上で新しい発想の下にその年度の会長幹事の方針を決定して頂きたいと望んでおります。話が変わりますが、今話がありましたように松前年度は田嶋年度とあわせて東日本大震災に向かい合った年度として、長く記憶される年度になると思います。この大地震や大津波だけでなく原子力発電の放射能漏れという新しい問題があり、生きるもの全ての遺伝子を通じて何世代にわたって影響することありますし、また海水や大気を伝播して世界に広がる、やはりこれも縦軸横軸に大きな影響を及ぼす、人為的なおいのする災害であります。いってみればこの度の震災は複合震災と言ってもよいのではないかと思います。ロータリーもこの問題の支援に対して例年ない活動を要請されていると私は考えております。この複合大震災はロータリーがこれまで取り組んでまいりましたポリオへの援助以上に長く大きく支援する必



要があると考えられるわけあります。そんな点を本日の分科会、そして皆様がクラブへ帰られた後にその支援の方法等についてご検討頂きたいと思います。田嶋ガバナーがお話になられたようにこれは1年、2年で終わるうことではないと思いますので、宜しくお願ひを申しあげます。この我々に任された1年というのは長いようで実は本当に短いのです。おそらく会長幹事をされるのはこの機会しかないわけで、「This year, my year」この1年は私の1年という気持ちで元気を出してやって頂きたいと思います。先程分区毎のクラブの紹介がありました。松前エレクトがご欠席ということもあり、大震災の影響かと思われるくらい、少し元気のない返事でしたので、もっと勢いよく元気を出して頂く、そんな1年にして頂きたいと思います。特に会長幹事さんにおいては「This year, my year」のほかに「One club, one color」自分のクラブは自分の色合いをもってやるのだという元気を持ってやって頂きたいと思います。各クラブの委員長さんにおいては、「One committee, one color」でやって頂きたいと思います。そして皆さんの考えを集めてまとめて頂きたいと思います。時間が来ましたので最後に一つだけ申し上げます。私がガバナーエレク

トの時に地区の研修リーダーは大島パストガバナーでした。その際に一句贈呈して頂きました。「春風や 開志いだきて 丘に立つ」まるで地区協議会に合わせて作ったような高浜虚子の素晴らしい句であります。こんな句を頂戴しました。その時に集まった皆さん方の気持ちをよく表した俳句だと思い、地区協議会を迎える度、この句を思い出します。今日は皆様にこの一句を贈呈致します。是非頭に残して頂きたいと思います。いずれにしましても心にのこる1年、悔いの残らない1年にして頂くことを念願してちょうど時間となりました。ありがとうございました。

ガバナーエレクト挨拶（代読）



田嶋好博ガバナーによる代読



国際ロータリー第2760地区
ガバナーエレクト

松前憲典

※左記の写真は平成23年6月11日
ロータリー地区会長幹事会の際
に撮影されたものです。

本日は、2011～2012年度のための地区協議会へ多数の地区役員の皆様および各クラブ次年度役員の皆様のご出席を頂き、こころから御礼を申し上げます。

誠に恐縮ながら、不肖松前は現在病院で療養中のため、本日は欠席させて頂き、私に代わって田嶋ガバナーにご挨拶とご報告をお願いしました次第です。

さて、連日テレビなどで報道されていますが、3月11日に発生しました東日本大震災により、津波など列島各地で未曾有の災害が起こりました。その上、福島第1原発の爆発事故が発生し、国難ともいべき、国家的危機に直面致しました。

去る3月13日に開催致しました次年度会長エレクト研修セミナー（PETS）にお

いて、この度の地震で亡くなられた方へ黙祷を捧げました。また当日の出席者各位へ義援金のお願いを致しましたところ672,000円が集まり、別途本年度ガバナー事務所より各クラブへお願いし、ご協力頂いた義援金と合算し、総額23,720,340円を田嶋ガバナーよりガバナーハウスへ送金頂きました。被災されました方に心からお見舞い申し上げるとともに、今後2760地区として出来るだけの救助、心の支援を考えさせて頂きたいと思っております。

また、私の同期のガバナーエレクトの間で、この度の震災への支援について現在検討しております。詳細は現時点では未定ではありますが、復興に向けて積極的な支援に協力したいと考えております。

さて、3月以降、次年度のための各会合



を順次開催させて頂き、本日の地区協議会開催に至りました。地区協議会の目的は、次期クラブ指導者の就任に備えるための研修であり、次年度地区内82クラブの役員となられる皆様に本日お集まり頂いております。クラブの代表として次年度RIテーマ、地区方針、そして各地区委員会方針についての研鑽を図り、クラブの活性化のために役立てて頂きたいと思います。

それではここで次年度RIテーマ及び地区方針についてご説明させて頂きます。既に他の会議でご説明申し上げており、重複する部分も多いかと存じますが、ご容赦下さい。

次年度のRIテーマは「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」です。

まずは自分を見つめなおすことにより人類が皆、同じ夢、希望、願望、問題を分かち合っていることを理解してほしいということです。カルヤン・バネルジーRI会長エレクトは国際協議会のスピーチの中で、「家族」「継続」「変化」の3つの強調事項を主張されました。

万事は家族から始まり、そこから人々の生活や地域社会を通じて世界をより良くすることができるのであると唱えられました。

継続、それは私たちが一番得意とすることを継続していくことであり、ロータリーにおいては、きれいで安全な水の提供、識字力の向上、新世代の育成、ポリオ撲滅などが挙げられます。これら全てを行うために、長期計画及びロータリー財団未来の夢計画の実践が核となります。

第3の強調事項の「変化」について、バネルジーRI会長エレクトは、ロータリアンはロータリーの奉仕を通じて理想を形にする現実的な理想主義者であり、皆ロータリーを通じて世界を変えると望んでいますが、その変化の担い手となるために、まず自分の中に変化を起こすことの必要性を認識しなければならないと説かれました。自己を省みることの重要性がここにあるわけです。

また、目標分野として2つの点を挙げられました。それは若い会員を増やすことと世界にロータリーの物語を伝えることです。前者はロータリーの活動を担う若い会員に扉を開き、受入れること、後者はロータリーにおける広報活動の重要性と考えます。

このRIテーマを受けて、私は地区のテーマを『会員増強とクラブの活性化』、重点項目として「社会貢献をする」「ゆったりとおおらかに生きる」



と致しました。

若年層の増強を含め、5,000名を目指して会員増強に取り組んでまいりたいと考えております。ロータリーの奉仕活動を通じて社会へ貢献し、地域ひいては世界へロータリーの素晴らしさを伝えるべく1年間努めてまいる所存です。「ゆったりとおおらかに生きる」、これは老子の思想を引用致しました。無理をせずにおおらかに人生を過ごすこと、これは私の人生の中でモットーとするところです。

以上、RIテーマおよび次年度ガバナー方針について述べさせて頂きました。

これに基づき、本日の午後に開催致します各分科会のテーマを定めました。そのテーマに沿って、各分科会リーダーを中心に本日に向けての委員会内での綿密な事前打合せなど、それぞれ準備を進めて頂きました。分科会運営にご協力頂いた各リーダー、アドバイザー、アシスタントリーダーの皆様に深く感謝申し上げます。

また、本日のホストクラブである知多ロータリークラブ会員の皆様には企画、運営において大変なご尽力を賜りました。心よりお礼申し上げます。

最後になりますが、本日の会議に欠席させて頂きますことを重ねてお詫び申

し上げ、私の挨拶とさせて頂きます。ご清聴ありがとうございました。



地区協議会分科会 プログラム -第1分科会-

（会長・副会長・幹事・会員増強）

会場名：【2F】天守の間（南）

テーマ：会員増強（ロータリーの組織強化と財団の活動の活発化）

| | | |
|------------------------------|--------------------------------|---------|
| リーダー | ガバナー | 田 嶋 好 博 |
| アドバイザー | パストガバナー | 盛 田 和 昭 |
| アドバイザー | パストガバナー/次期拡大委員長 | 豊 島 徳 三 |
| アドバイザー | ガバナーノミニー | 千 田 育 |
| 司 会 | 次期地区副幹事 | 石 原 稔 久 |
| 1 開会の辞および特別出席者紹介 | 次期地区副幹事 | 石 原 稔 久 |
| 2 クラブ運営とクラブの目指すもの | リーダー ガバナー | 田 嶋 好 博 |
| 3 ポール・ハリスのロータリー | アドバイザー パストガバナー | 盛 田 和 昭 |
| 4 アドバイザー挨拶 | アドバイザー パストガバナー/次期拡大委員長 | 豊 島 徳 三 |
| 5 ガバナーノミニー挨拶 | アドバイザー ガバナーノミニー | 千 田 育 |
| 6 次期ガバナー補佐挨拶 | アシスタントリーダー 次期ガバナー補佐 | 大 口 弘 和 |
| 7 地区幹事挨拶 | アシスタントリーダー 地区幹事 | 水 野 吉 紹 |
| 8 誇りある増強 | アシスタントリーダー 次期会員増強リーダー | 伊 藤 秀 雄 |
| 9 会員増強・退会防止に クラブがいかに取り組むか | アシスタントリーダー 次期会員増強委員長 | 小 山 慎 介 |
| 10 拡大について | アシスタントリーダー 2010～2011年度拡大委員長 | 杉 浦 壽 康 |
| 11 質疑応答・意見交換 | | |
| 12 次期地区幹事挨拶 | アシスタントリーダー 次期地区幹事 | 長谷川 正 己 |
| 13 講 評 | リーダー ガバナー | 田 嶋 好 博 |
| 14 閉会の辞 | 次期地区副幹事 | 石 原 稔 久 |



地区協議会分科会 プログラム -第2分科会-

〈クラブ奉仕・広報・雑誌・IT・会計〉

会場名：【2F】青雲の間（西）

テーマ：ロータリーを理解し、クラブを活性化しよう (魅力あるロータリークラブをつくる)

リーダー
アドバイザー
アドバイザー
司 会

次期クラブ奉仕委員長
パストガバナー
パストガバナー
次期地区副幹事

重 富 亮
大 島 宏 彦
大 澤 輝 秀
森 俊一郎

| | | |
|-------------------|----------------------------|---------|
| 1 開会の辞および特別出席者紹介 | 次期地区副幹事 | 森 俊一郎 |
| 2 アドバイザー挨拶 | アドバイザー パストガバナー | 大 島 宏 彦 |
| 3 議IT率向上の推進について | アドバイザー パストガバナー | 大 澤 輝 秀 |
| 4 次期ガバナー補佐挨拶 | アシスタントリーダー 次期ガバナー補佐 | 河 村 金 明 |
| 5 ロータリーとクラブ奉仕について | リーダー 次期クラブ奉仕委員長 | 重 富 亮 |
| 6 ロータリー未来委員会について | アシスタントリーダー 次期ロータリー未来委員長 | 宮 崎 薫 |
| 7 I Tについて | アシスタントリーダー 次期I T委員長 | 杉 浦 令 淑 |
| 8 広報活動について | アシスタントリーダー 次期広報委員長 | 裕 伸 夫 |
| 9 地区会計について | アシスタントリーダー 次期地区会計長 | 大 森 進 |
| 10 質疑応答・意見交換 | | |
| 11 講 評 | アドバイザー パストガバナー | 大 島 宏 彦 |
| | アドバイザー パストガバナー | 大 澤 輝 秀 |
| 12 閉会の辞 | 次期地区副幹事 | 森 俊一郎 |



地区協議会分科会 プログラム -第3分科会-

〈職業奉仕〉

会場名：【1F】シャンボール

テーマ：自己の職業を通じて、他者に奉仕しながら高い高潔性を目指す

| | | |
|----------------|------------|---------|
| リーダー | 次期職業奉仕委員長 | 國 友 昌 大 |
| アシスタントリーダー | 次期ガバナー補佐 | 細 井 英 治 |
| アシスタントリーダー | 次期地区副幹事 | 西 岡 則 男 |
| アシスタントリーダー・司 会 | 次期職業奉仕副委員長 | 匹 田 雅 久 |

- | | | |
|------------------------------------|------------------------------|---------|
| 1 開会の辞および特別出席者紹介 | アシスタントリーダー 次期職業奉仕副委員長 | 匹 田 雅 久 |
| 2 次期委員長挨拶 | リーダー 次期職業奉仕委員長 | 國 友 昌 大 |
| 3 次期地区副幹事挨拶 | アシスタントリーダー 次期地区副幹事 | 西 岡 則 男 |
| 4 アドバイザー挨拶 | アドバイザー パストガバナー/次期地区研修リーダー | 片 山 主 水 |
| 5 ①DVD鑑賞 真の「職業奉仕」がロータリーを救うか | | |
| ②奉仕理念と四つのテスト | リーダー 次期職業奉仕委員長 | 國 友 昌 大 |
| ③次年度職業奉仕委員会活動について (8月の委員長会議の案内) | アシスタントリーダー 次期職業奉仕副委員長 | 匹 田 雅 久 |
| ④質疑応答 | | |
| 6 次期ガバナー補佐挨拶と講評 | アシスタントリーダー 次期ガバナー補佐 | 細 井 英 治 |



地区協議会分科会 プログラム -第4分科会-

〈社会奉仕・RCC・環境保全〉

会場名：【2F】銀の間

テーマ：ロータリーの基本理念は奉仕の理想、奉仕はサービス、
サービスとは社会に貢献することである

リーダー

次期社会奉仕委員長

長瀬 輝代之

アドバイザー

パストガバナー

福田 浩三

アドバイザー

パストガバナー

神戸 政治

司会

次期地区副幹事

倉地 伸幸

1 開会の辞および特別出席者紹介 次期地区副幹事 倉地 伸幸

2 リーダー挨拶 リーダー 長瀬 輝代之

リーダー

次期社会奉仕委員長

3 アドバイザー挨拶 アドバイザー 福田 浩三

アドバイザー

パストガバナー

4 次期ガバナー補佐挨拶 アシスタントリーダー 三浦 和人

アシスタントリーダー

次期ガバナー補佐

5 地区社会奉仕委員会方針 リーダー 長瀬 輝代之

リーダー

次期社会奉仕委員長

6 地区RCC委員会方針 アシスタントリーダー 松崎 美都子

アシスタントリーダー

次期RCC委員長

7 地区環境保全委員会方針 アシスタントリーダー 鈴木 元弘

アシスタントリーダー

次期環境保全委員長

8 質疑応答・意見交換 アドバイザー 神戸 政治

アドバイザー

パストガバナー

9 講評 倉地 伸幸

10 閉会の辞 次期地区副幹事 倉地 伸幸



地区協議会分科会 プログラム -第5分科会-

〈国際奉仕・世界社会奉仕（WCS）・識字率向上〉

会場名：【2F】天守の間（中）

テーマ：世界の夢の実現、国際理解、親善、平和の推進

リーダー
アドバイザー
司 会

次期国際奉仕委員長
パストガバナー
次期地区副幹事

佐 藤 文 昭
内 藤 明 人
鹿 島 兼 一

| | | |
|----------------------|----------------------------|---------|
| 1 開会の辞および特別出席者紹介 | 次期地区副幹事 | 鹿 島 兼 一 |
| 2 リーダー挨拶 | リーダー 次期国際奉仕委員長 | 佐 藤 文 昭 |
| 3 次期ガバナー補佐挨拶 | アシスタントリーダー 次期ガバナー補佐 | 横 山 真 久 |
| 4 国際奉仕について | リーダー 次期国際奉仕委員長 | 佐 藤 文 昭 |
| 5 世界社会奉仕状況について | アシスタントリーダー 次期世界社会奉仕副委員長 | 杉 浦 敏 夫 |
| 6 識字率向上活動について | アシスタントリーダー 次期識字率向上委員長 | 鈴 木 吉 男 |
| 7 ロータリー財団 未来の夢計画について | 次期地区グローバル補助金委員長 | 篠 橋 美 久 |
| 8 質疑応答・意見交換 | | |
| 9 講 評 | アドバイザー パストガバナー | 内 藤 明 人 |
| 10 閉会の辞 | 次期地区副幹事 | 鹿 島 兼 一 |



地区協議会分科会 プログラム -第6分科会-

〈新世代奉仕・インタークト・ローターアクト・R Y L A・青少年交換〉

会場名：【2F】青雲の間（東）

テーマ：新世代奉仕活動・理念の実践とその課題解決に向けて (将来のリーダー育成の為に)

リーダー

次期新世代奉仕委員長

秋田敬治

アドバイザー

パストガバナー

松本宏

司会

次期地区副幹事

松岡正浩

| | | |
|---------------------------------|--------------------------------|-------|
| 1 開会の辞 | アシスタントリーダー 次期新世代奉仕副委員長 | 谷山芳和 |
| 2 特別出席者紹介 | 次期地区副幹事 | 松岡正浩 |
| 3 リーダー挨拶 (新世代奉仕委員会活動方針) | リーダー 次期新世代奉仕委員長 | 秋田敬治 |
| 4 アドバイザー挨拶 | アドバイザー パストガバナー | 松本宏 |
| 5 次期ガバナー補佐挨拶 | アシスタントリーダー 次期ガバナー補佐 | 山口誠一 |
| 6 インタークト委員会活動方針 | アシスタントリーダー 次期インタークト委員長 | 大河内圭一 |
| 7 ローターアクト委員会活動方針 | アシスタントリーダー 次期ローターアクト副委員長 | 寺本善雄 |
| 8 R Y L A委員会活動方針 | アシスタントリーダー 次期R Y L A委員長 | 谷山芳和 |
| 9 青少年交換委員会活動方針 | アシスタントリーダー 次期青少年交換委員長 | 岡田雅隆 |
| 10 危機管理について | アシスタントリーダー R I 日本青少年交換委員会理事 | 神田憲 |
| 11 質疑応答 | | |
| 12 意見交換 (各委員会別にグループディスカッション) | 進行役 各委員会副委員長・委員 | |
| 13 講評 | アドバイザー パストガバナー | 松本宏 |
| 14 閉会の辞 | 次期地区副幹事 | 松岡正浩 |



地区協議会分科会 プログラム -第7分科会-

（ロータリー財団）

会場名：【2F】金の間

テーマ：ロータリー財団未来の夢計画、 パイロット地区としてのプログラムの展開

リーダー
アドバイザー
司 会

次期ロータリー財団委員長
パストガバナー
次期地区副幹事

深 谷 友 尋
福 田 清 成
白 木 公 明

| | | |
|-----------------------|-----------------------------------|---------|
| 1 開会の辞および特別出席者紹介 | 次期ロータリー財団副委員長 | 矢 形 修 己 |
| 2 リーダー挨拶 | リーダー 次期ロータリー財団委員長 | 深 谷 友 尋 |
| 3 アドバイザー挨拶 | アドバイザー パストガバナー | 福 田 清 成 |
| 4 資金の調達について | アシスタントリーダー 次期資金推進委員長 | 朱 宮 新 治 |
| 5 年次寄付について | アシスタントリーダー 次期年次寄付委員長 | 中 林 正 人 |
| 6 恒久基金・大口寄付について | アシスタントリーダー 次期恒久基金・大口寄付委員長 | 伊 奈 一 郎 |
| 7 地区活動資金について | アシスタントリーダー 次期補助金委員長 | 松 尾 憲二郎 |
| 8 グローバル補助金について | アシスタントリーダー 次期グローバル補助金委員長 | 竪 橋 美 久 |
| 9 新地区補助金について | アシスタントリーダー 次期新地区補助金委員長 | 石 田 正 城 |
| 10 職業研修チームについて | アシスタントリーダー 次期職業研修チーム委員長 | 鈴 木 文 勝 |
| 11 奨学基金・学友会について | アシスタントリーダー 次期奨学基金・学友会委員長 | 満 田 稔 |
| 12 ポリオプラスについて | アシスタントリーダー 次期ポリオプラス委員長 | 増 田 盛 英 |
| 13 ロータリー平和フェローシップについて | アシスタントリーダー 次期ロータリー平和フェローシップ委員長 | 石 川 昌 和 |
| 14 監査について | アシスタントリーダー 次期ロータリー財団監査委員長 | 川 島 誠 |
| 15 講 評 | アシスタントリーダー 次期ガバナー補佐 | 岩 瀬 淳一郎 |
| 16 閉会の辞 | 次期地区副幹事 | 白 木 公 明 |



地区協議会分科会 プログラム -第8分科会-

（米山奨学）

会場名：【3F】松竹の間

テーマ：奨学事業は人づくり、米山学友は世界を、日本を支える力

リーダー
アドバイザー
アドバイザー
司 会

次期地区米山奨学委員長
パストガバナー（財）ロータリー米山記念奨学会理事
パストガバナー
次期地区副幹事

中 島 実
加 納 泉
福 田 清 成
小 島 三 男

1 開会の辞

特別出席者、地区米山奨学委員紹介 次期地区副幹事

小 島 三 男

2 リーダー挨拶

米山奨学事業について
地区の役割とクラブ委員長の役割

リーダー
次期地区米山奨学委員長

中 島 実

3 アドバイザー挨拶

アドバイザー
パストガバナー
(財) ロータリー米山記念奨学会理事

加 納 泉

4 アドバイザー挨拶

アドバイザー
パストガバナー
次期（財）ロータリー米山記念奨学会理事

福 田 清 成

5 次期ガバナー補佐挨拶

アシスタントリーダー
次期ガバナー補佐

林 問 成

6 奨学生選考について

アシスタントリーダー
次期地区米山奨学副委員長

伊 藤 敦 夫

7 奨学生寄付について

アシスタントリーダー
次期地区米山奨学副委員長

杉 浦 正 典

8 奨学生・学友について

アシスタントリーダー
次期地区米山奨学副委員長

坂 井 則 夫

9 質疑応答・意見交換

特別顧問（現委員長）

竹 内 一 郎

10 元米山奨学生の卓話

学友会会长

林 琼

11 講 評

アドバイザー
パストガバナー

福 田 清 成

12 閉会の辞

次期地区副幹事

小 島 三 男



地区協議会分科会 プログラム -第9分科会-

〈会長エレクト・副幹事・S A A・ロータリー情報・ロータリー研修〉

会場名：【2F】天守の間（北）

テーマ：入っては学び、出でては奉仕

リーダー

パストガバナー

片山主水
関口宗男
柳澤幸輝
五藤隆夫
津川聖子
鈴木孝則

アシスタントリーダー
アシスタントリーダー
アシスタントリーダー
アシスタントリーダー
アシスタントリーダー

次期地区研修リーダー
次期地区研修委員長
2012～2013年度地区幹事
次期地区研修副委員長
次期地区研修副委員長
次期地区研修副委員長

次期地区研修委員

天野正明 伊藤英毅
小島啓治 成田洋之
榎原肇 下郷卓弥
井上穂 北村隆子

加藤真治
西村忠郎
鈴村幸雄
山内登

木村高章
小川宏嗣
山名敬一

司会

次期地区事務局長

加藤辰己

開会

- 1 開会の案内
開会の辞および特別出席者紹介 次期地区事務局長 加藤辰己
- 2 趣旨説明 次期地区研修委員長 関口宗男
- 3 ワークショップ
討論形式で進行 進行役 次期地区研修委員
- 4 リーダー基調講演および講評
パストガバナー
次期地区研修リーダー 片山主水

閉会

- 5 閉会の辞 次期地区研修委員長 関口宗男



ガバナー講評



国際ロータリー第2760地区
ガバナー

田嶋好博

それぞれの分科会で参考になる議論が交わされたと思います。私の所属しておりました第1分科会はこの後開催される会員増強セミナーの講師を務められる伊藤秀雄次年度地区会員増強リーダーのおかげで大変盛り上りました。この後のセミナーでお話になる内容のさわりの部分を第1分科会で聞かせて頂き、続きはセミナーで拝聴できるとのことです。実に参考になるおもしろいお話ですので、お時間のある方は是非引き続きご参加頂ければと思います。長時間にわたりまして真剣なご議論頂きまして誠にありがとうございました。皆様方の年度のご活躍とご成功をお祈りして閉会の言葉とさせて頂きます。今日はどうもご苦労様でございました。

アルバム



























地区大会のご案内



2011～2012年度地区大会
実行委員長
名古屋瑞穂ロータリークラブ
高 村 博 三

ご紹介頂きました名古屋瑞穂ロータリークラブの高村でございます。

ご承知のとおり2011～2012年度地区大会は11月19日、20日の2日間でこのウェスティンナゴヤキャッスルにおいて開催致します。先程田嶋ガバナーから松前エレクトに代わって次年度の目標が示されました。「会員増強とクラブの活性化」このテーマを踏まえ、地域社会への貢献を深めていこうということでございます。基本的にはクラブ内や他クラブとの交流の中でより育まれていくことを願うという趣旨で設営しております。その中身に付きましては、ご参加される皆さんで作って頂きたいと思っております。自分自身がどういう立場にあるか、そして人との触れ合いがどういうことで結果がこうなるかということは日々の生活の中で皆様は十分ご承知のことと思います。皆様方にお集まり頂き、その場を交流の場として捉えて頂ければと考えております。大勢の方のご登録をお待ちしております。ありがとうございました。



2012～2013年度のための地区協議会のご案内



名古屋千種ロータリークラブ
会長エレクト
池森由幸

皆さん、こんにちは。ただいま田嶋ガバナーよりご紹介頂きました名古屋千種ロータリークラブ、会長エレクトの池森由幸と申します。宜しくお願ひ致します。先日開催されました地区協議会指導者会議で、本日のホストを務めておられます知多ロータリークラブ会長の久野様はじめ知多ロータリークラブの皆様方から温かいご指導を今後とも頂けるというお言葉を頂いて安心しております。2012～2013年度地区協議会は本日ここに参加しております名古屋千種ロータリークラブ本年度会長の三好親に実行委員長をお願いしております。本日の書類の44ページに記載がございますが、2012年4月15日（日）にこの会場で開催致します。次々年度の千田年度に向けての大変な会議でございますので、どうぞ皆様またご参集下さい。どうぞ宜しくお願ひ致します。

東日本大震災報告



国際ロータリー第2760地区
地区幹事

水野吉紹

今度の東日本大震災に関しましてロータリアンの皆様よりは多額の義援金をありがとうございました。ガバナー事務所では皆様からお預かりした義援金をガバナーカーを通じ被災された地区へ送金をさせて頂きました。今回はこの義援金以外に当地区が行いましたヘリコプター等を使った救援活動について報告をさせて頂きます。

もともと、この支援話の発端は、地区ロータークト委員長の名古屋瑞穂RCの高須洋志委員長から同委員会委員の江南RCの松本哲一さんが個人でヘリコプターを持っておられ、ヘリを所有する方の全国的な同好会でヘリコプター協議会に参加している。今回の地震に対して何かボランティアができるだろうか？支援、援助したいと考えておられました。この協議会自体は10年前の阪神淡路大震災の時にも活躍されていました、物資を東京の方から神戸の方へ運んで見えました。それ

で、今回もそうした支援をしようと計画をされておりました。しかしこれには資金が必要であり、ロータリーで何かできないかということで、地区のほうに支援のお願いがありました。地区ではこれに協力し、ヘリコプターを使って物資や人（医師、看護士さん等）を送ろうと賛同する事に致しました。

ヘリコプターは個人所有の小型のヘリコプターで、総重量で400キロ程度しか積めません。従って、パイロットと荷物がたぶん300キロ前後、もしくは4人の人数が乗っていくということになりました。輸送は1日に数回、宮城・岩手を中心に、当初はおむつや女性用下着、粉ミルクなどの比較的軽いものを運んで頂きました。途中からは毛布とか水、食料等も運んで頂きました。この輸送には、ヘリコプターのチャーター代と燃料費（パイ



ロットの入件費はボランティア）で、1日30万円程かかるということで、その資金手当てにご協力頂けないだろうかというご提案を頂きまして、1日30万、約1カ月で900万ということでご協力しようということで、”ヘリコプターによる救援物資輸送・医師等の派遣”を計画させて頂きました。

震災から約1ヶ月後の4月12日（火）には、高須委員長と共に実際に現地を視察して参りました。当日はまだ東北新幹線も全線再開はしておりませんでした。ヘリコプターでJR高崎線の北本駅近くのヘリポートまで迎えに出るとのこと、当日前、新幹線で名古屋始発6時20分に乗り東京で乗り換えて行く予定でした。ところが品川駅を出て終点東京駅へあと200メートルぐらいというところで震度5の地震が起き、停電で新幹線が止まってしまいました。窓の外を見ると、JRのほかの電車はすべて動いている。おかしいなと思っていましたら、実は新幹線の電力はJR東海、つまり中部電力の管轄で、JR東日本、つまり東京電力と送電線が違うため、中部電力のチェックが終わるまでとにかく動けず、結局30分程そこで足止めとなりました。そして東京駅から大宮まで東北新幹線に乗りました。しかし、これも余震が多発して時間通りの出発ができないというので、8時20分ぐらいに東京駅に着いたのですが、まだ7時30何分の電車が動いていないという状況でした。大宮

駅からはJR高崎線で四つ目の駅、北本駅で下車。駅はのどかな駅で、駅周辺を少し離れると周りも畠ばかりで何もないようなところでした。北本駅からは迎えに来て頂いた車でヘリポートまで行きました。ヘリポートは河川敷の一角に小屋が一つあるだけ。ヘリポートというのは5メートル四方あれば簡易ヘリポートとしての着陸許可が取れるそうです。この北本ヘリポートからヘリコプターに乗って仙台まで参りました。ヘリコプターには【国際ロータリー第2760地区愛知】というステッカーが貼ってあり2760地区としてロータリーの支援活動の広報に努めました。

北本は宇都宮の手前ですから仙台までもまだかなりの距離がありますし、行きは、向かい風になりましたので、やはりかなり時間を要し、2時間15分ぐらいかかりました。

小型ヘリで揺れのひどいのを避けるため、あまり揺れない海と山の間（通称”浜通り””中通り”といわれる”中通り”のところ）を飛んで頂くようお願いし、田んぼとか平地の上を飛んで頂いたので、ちょっと時間がかかったということもあります。

仙台に着く20分ぐらい手前のところで、上空から見た被害状況が望まれました。

防風林を通り越して水が来てしまい、実際はかなり家があったところも全部流されて無くなっているのが望まれました。残っている家の周囲も土砂が埋ま



り、自動車も転がっていて手のつけようがないというか、まだそこまで人が入つていけない、だから人影はまだ全く見えないというような状況でした。仙台空港は大分綺麗になっていましたが、ただ手前の川はまだ溢れているという状態で、この時も民間機はまた飛べず自衛隊のヘリコプターしか降りられないという状況でした。

仙台では芋地蔵ヘリポートに着陸を致しました。市内から約20分程内陸に入った場所でした。そこには現地で活動をしている協議会の方々にお目にかかりました。また現地で陸送をしていたトラックも見せて頂きました。このトラックは歌手の庄野真代さんのいわゆるコンサートツアーが終わった後の車を中古で安く購入したもので、ちょっと派手なデザインですが、このトラックにも第2760地区の表示や大きなロータリーマークをつけて、ロータリーの支援活動の広報に努めました。

その後仙台市内の支援物資中継所を訪れました。支援所には、荷物は山のように積んであり、足りないものはないぐらい、水、食料から石鹼、タオルなど日用品のほとんどのものがありました。ただ、ここは仙台の町中、駅から5分ぐらいの所にある支援所です。この支援所からなかなか先へ運んでいけないので。つまり、運ぶ車もない、運んでいく人もいない。また車があってもガソリンがな

いということで、私が行った時の4月12日、名古屋でレギュラーガソリンが1リットル150円、少し高いところで165円ぐらいでしたが、現地で高いところは180円近く。それでもやはり皆さんには必要だということで給油されてみました。

何故支援所から先に物資が行かないかという理由はいろいろあります。ボランティアの方がたくさんいて活動はされていますが、ボランティアの方は一過性で、今日来たけれども明日は来ないとかいうこともあります。連日集中した行程が組めないということがあります。現在はかなり改善をされているようですがまだまだ人不足は否めないとお話しでした。

先週、現地でお手伝いをされている方と話を致しました。現在仙台市内に関してほとんど問題はなくなった。今後は石巻とかもっと北の方、津波の被害の大きかった海に近い街は、まだテレビで映るような手付かず状態であり、援助の手が必要です。でも被災者の皆さんは元気で頑張っているので我々ももっと頑張らねばとのお話しでした。徐々にですが復旧が進んできているというのが現状であるとお聞きしています。

支援活動の詳しい話とか後日談につきましては、地区HPに報告をさせて頂きますので御参照下さい。



ガバナーズ・クラブバナー引継ぎ



地区協議会当日はガバナーエレクト欠席の為、
6月11日の地区役員会長幹事懇談会に於いて、
ガバナーズ・クラブバナー引継ぎが行われました。



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 国際ロータリーのテーマ

地区のテーマ
会員増強とクラブの活性化

国際ロータリー第2760地区
2011年-2012年度のための
地区協議会
ホストクラブ:知多ロータリークラブ
